



就労継続支援B型施設

～事業計画のご提案～

就労継続支援B型施設

すまいる工房



©和光市

1 就労継続支援B型施設のニーズ

工賃の
向上

就労
支援

生活の質
の向上

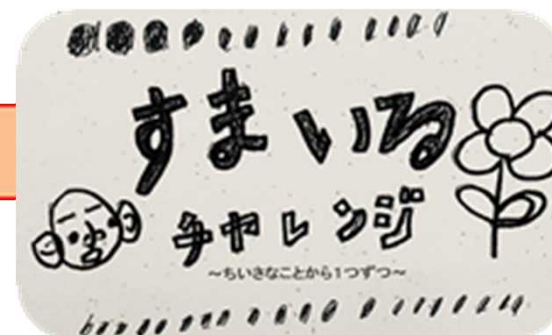
社会
参加

5年間どのように取り組んできたか？

<すまいる工房キャッチコピー>

利用者が、住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう支援します。

すまいるチャレンジ～ちいさなことから1つずつ～ →



2 工賃向上 (R5 年実績16,688円)

令和6年に工賃向上計画にある目標金額を達成し、
目標工賃達成加算を取得しました

目標値

1%～2%の向上



55人の定員に対して就労会計の年間純利益がおよそ20万円の向上

式	就労会計 純利益 (月間)
利用者55人×16,688円 (令和5年度)	928,840円 (実績)
令和6年度目標、2%UP 1人：17,225円	947,375円 + 18,535円 (R6年度ノルマ)



3

完全採算を達成しました

報酬体系のとりべき加算をとって完全採算を達成しました！！



<令和6年の主な加算>

就労継続支援B型サービス費Ⅰ（15千円～20千円）

目標工賃達成指導員配置加算 目標工賃達成加算

福祉専門職員配置等加算Ⅰ

福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）

福祉・介護職員特定処遇改善加算（Ⅰ）

食事提供体制加算

医療連携体制加算Ⅰ

医療と連携して重症化を
防ぎ出席率90%※以上

<これからの目標>

就労移行支援体制 加算

就労移行連携加算

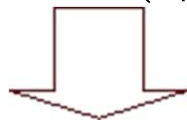
（※全国平均の利用率は概ね83%）

4 大人数の施設を利用者の個別ニーズに対応しながら運営しました

すまいる工房を利用されている方は、満足度調査及び個別面談を基にグループ化すると、およそ3つのグループに分類することができます。

大人数で助け合う雰囲気

定員 55名 多様なニーズ（年齢、働きかたなど）



グループ① 「いずれ就労したい」

就労目標グループ

グループ② 「すまいる工房でバリバリ働きたい」

工賃向上グループ

グループ③ 「すまいる工房で自分のペースで働きたい」

地域生活グループ

＜自分の想いを引き出す意思表出支援＞

→ 「働きたい」という想いを実現

（※ 46人以上の施設は構成比 1.4%）

5 作業を通じ社会参加しました

- ・地域の催事
- ・多世代交流
(例：一人暮らし高齢者会食会、児童館行事の共催)
- ・パン配達など外作業
- ・企業への施設外就労
- ・大学生など実習生の受け入れ、交流
- ・ボランティアの受け入れ
(作業ボランティア・傾聴ボランティア)



強度行動障害の対応および虐待防止及び身体拘束等ゼロ化の推進

6 人的基盤を整えた経営をしました

和光市民の雇用

有資格者の配置

人材の育成



7 利用者および家族の高齢化へ対応しました

家族向けに開かれた
研修会の実施



8 厨房を自前で運営しました

特別食	・利用者のリクエスト ・特別食対応（減塩、低カロリー、刻み、ミキサーなどの嚥下食、アレルギー食など）
他施設への給食提供	身体障害者施設のゆめちか 精神障害者施設のワンステップ様 ※100食／1日 以上
利用者の厨房作業	皿洗い 清掃 配膳 下膳 など
安価	食材料費400円

厨房機能を活かして「健康」、「楽しみ」、そして「働く場」の創設

9 生活技能及びレクリエーションの提供を行いました

学習会

催事参加

地域交流

すまいる会

社会体験活動

地元野菜販売

パン販売や地域との交流を通じて、利用者が地域で力を発揮します

1 0 ICT等を活用。また、職員を手厚く配置しました

ICTの活用

記録ソフト 連絡網アプリ レジアプリ
勤務管理ソフト **IPAD**等活用した音声入力



事務作業を軽減し、作業や支援に関わる時間を増やす

総合支援法の「サービス費Ⅰ」規定の職員対比 6 : 1 以上の職員数の配置を行っています

<R 6 年現在>

5 : 1 以上の職員配置

※ 1 0 - 1 1 人の出勤体制

1 1 これからの取組 ～就労継続支援B型の給付費向上の仕組みとは！？～



4つのポイント

- ① 利用者の定員を増やして介護給付費を伸ばせるか？
- ② 月額平均工賃をどのくらい増やせるか？
- ③ 就労する方を出して就労移行体制加算取得できるか？
- ④ 出席率を向上させて給付費収入を安定化できるか？



1 2 これからの取組 ～就労継続支援B型の給付費向上の仕組みとは！？～

ポイント①

利用者の定員を増やして訓練等給付費を伸ばせるか？



5 5 名の定員で大人数の維持

これ以上人数を増やすと…

- ・狭くなる
- ・平均工賃が下がってしまう

5 5 名を割らない、人を集める努力をする



1 2 これからの取組 ～就労継続支援B型の給付費向上の仕組みとは！？～

ポイント②

月額平均工賃をどのくらい増やせるか？



工賃向上は大幅な上昇は難しいが、少しずつ達成

- 多くがマイペースな作業を希望
 - 負荷が強まり利用者の心身に不調が現れやすい
- ＜結論＞利用者に合わせた適切な「量」「参加できる内容」が必要

工賃向上の目標は1～2%の上昇。

徐々に作業力を高めていく！

○利用者が主体となり利用者が作業、すこしずつ！



1 3 3つの部門を柱に利用者主体で！

事業①「CAFE部門」 パン工房 喫茶
・パン製造・販売

事業②「請負作業部門」 事業者からの内職など軽作業
→仕事を絶やさないように6社契約

事業③「地域交流部門」 公園清掃 施設外就労など

(例) 施設外就労

市内企業の新倉造園土木との除草作業



1 4 これからの取組 ～就労継続支援B型の給付費向上の仕組みとは！？～

ポイント③

就労する方を送り出して就労移行体制加算取得できるか？



施設見学、職場見学、体験実習、施設外就労で意欲ややる気を引き出す！

→数字や結果を求めて無理をせず、1人ひとりに寄り添った支援を行う。

○令和6年6月現在、トライアル雇用実施中



1 5 これからの取組 ～就労継続支援B型の給付費向上の仕組みとは！？～

ポイント④

出席率を向上させて給付費収入を安定化できるか？



健康を維持して元気に通えることを目指す

- ・ 看護職員配置で健康支援、感染症対策
- ・ 高齢化に対応するために相談員と連携

医療連携で、重症化を防ぐ

作業を通じた社会参加

その人の暮らし

工賃の
向上

その人らしさ

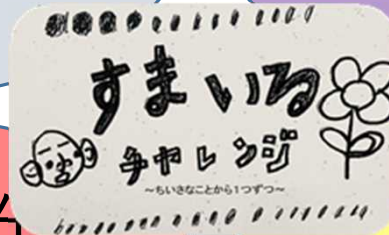
生活の質の
向上

就労
支援

社会
参加

思い

繋がり



すまいる工房

WITH

～今日よりすてきな明日のために～

